



# 湯田ダムだより

平成26年4月

北上川ダム統合管理事務所  
湯田ダム管理支所



湯田ダムは今年50周年を迎えます！



西和賀の厳しい冬を越えて

～雪解けが始まりました～



【満水の貯水池】



【雪解けの和賀川】



【夕日とダム湖】



3月31日（月）より、湯田ダムにおいて融雪放流が始まりました。  
（例年より10日ほど早い!!）

3月中旬から暖かい天候が続いたことにより、雪解け水が流れ込みダムの貯水位が高くなりました。この放流は5月頃まで続く予定となっています。なお、放流中の河川は危険ですので、近づかないようにしましょう。

## 錦秋湖ものしり館 開館します



館内の様子→



冬期期間中閉館しておりました錦秋湖ものしり館が、4月19日より開館を予定しております。館内は入館無料となっており、湯田ダムに関する資料や夏はダム近辺で採取された昆虫を【無料配布】する予定です。是非お立ち寄りください。

- 開館時間 9:00～16:30(12月頃まで)
- 休 み 期間中無休



# ～湯田ダム50年のあゆみ紹介～



## 湯田ダムの建設



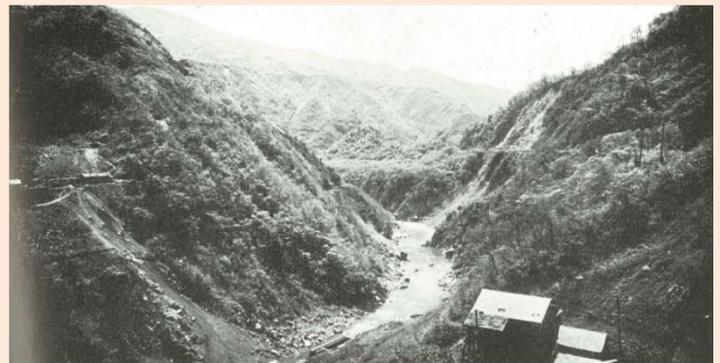
じつは、湯田ダムは当初、約13km上流の湯の沢地区に建設されることで計画されていきました。しかし、カスリン台風(昭和22年9月)・アイオン台風(昭和23年9月)と、2度に渡り洪水の大被害を受けた事から、計画が見直され、現在の位置に建設されることとなりました。

	[ダム高]	[総貯水量]
●当初計画ダム	42.5m	38,000,000m <sup>3</sup>
●現在のダム	89.5m (約2倍)	114,160,000m <sup>3</sup> (約3倍)

★長さは264.9m(校庭のトラック約1.5周分!)

★使われたコンクリートの量は379,000m<sup>3</sup>(25mプール約900個分!)

当初計画より2倍以上の大きさのダムが完成したことにより貯水容量も倍以上に増え、これにより洪水時には和賀川の被害軽減はもちろん、北上川への被害も軽減できることになりました。



《ダム建設前の杉名畑付近 S30年10月撮影》

### 転出者より一言

■機械担当:伊藤 秀樹  
【東北技術事務所へ異動】

1963年11月12日の一部湛水開始からおよそ50年、東京オリンピック(1964年)の前から、当時と変わらぬ姿で放流の役目を果たし続ける機械達があります。

そんな機械達を觀に、湯田ダムへ是非お越し下さい。



■管理担当:佐藤 真也  
【酒田河川国道事務所へ異動】

2年間と短い期間でしたが、ダムの様々な付属設備等の施設維持管理、貯水池の土地管理等幅広く仕事させていただき、多くの方々に支えられながら、自然豊かで魅力的なこの西和賀町で楽しく仕事をすることができ、非常に感謝しています。

西和賀町から離れるのは寂しいところではありますが、今までの経験を活かし、転出先でも日々国土交通行政に邁進していきたいと思ひます。

### 湯田ダム 春の訪れ



通称:パッケ(ふきのとう)

### 編集後記

山にはまだ雪が見えますが、湯田にも春がやってきました。パッケ、タラの芽...と山菜が楽しみ(食)な季節です。(佐)



### 発行

北上川ダム統管理事務所 湯田ダム管理支所

〒024-0341 和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15

TEL: 0197-74-2011 FAX: 0197-74-2013

ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

《2014》湯田ダム50周年